



三重県 伊藤由華 20歳

「夕ご飯、どうする？」 「先に食べてってええよ！！」
それが娘とかわした最後の言葉、その後あんな恐ろしい事が起こるなんて…

飲酒で暴走し、追い越し禁止車線での追い越し、凶暴運転の末の事故。
加害者は数年前にも死亡事故を起こしていて、犠牲となったのは由華が二人目。 そんな凶暴運転車が野放しにされていたのです。

亡くなった次の日は、専門学校の卒業式。

自分には夢や目標があるから幸せだと言っていた。

卒業式に合唱する歌を一生懸命練習したのに、歌うこともできずに逝ってしまった。

明るくて、優しくて、いつも友達に囲まれ笑いが溢れていた。

亡くなってから届いた国家試験の合格通知、就職も決まっていたきっと、充実した素晴らしい未来があったはず。

どれぐらい涙を流しただろう。

時がどれだけ経っても悲しみはさらに深くなる。

見えない我が子の姿を想い描いては、空しくなり胸が苦しくなる。

手の平で胸を押さえ深く呼吸すると、喉の奥が熱くなり涙が溢れてくる。

何度こんなことを繰り返しただろう。

生きていることさえ申し訳なく思い「ごめんな。許してな。」とつぶやいてしまう。

きっと私の命が亡くなる日まで続くでしょう。

もう、私のような母を増やさないでほしい。

だから命を大切にしてください！！

大切な命を守ってください！！



